

日本文学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

日本文学科では、豊かな人間性と幅広い視野、高度な言語運用能力をもとに諸共同体のリーダー・教育者・創作者等として主体的に社会に貢献できる人の育成を目指しています。自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、他者との議論や対話を通して言語文化の探究と創造に取り組む活動に重点をおいた教育を展開します。

このような教育理念・目的に基づき、日本文学科は次のような人を求めています。

- ・高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につけた人
- ・問いをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・読解力・表現力・対話力を活用して協働的に社会に参画する意欲がある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ①日本語・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法の修得のために、高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につける必要があります。
- ②周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③テキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に取り組むために、高等学校等までの学習において、論理的・創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力が必要です。

（主体性・多様性・協働性）

- ④著名な文学作品を読み、作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止める力が必要です。
- ⑤日本語・日本文学を深く研究していくためにことばや文学、文化への知的探究心が必要です。
- ⑥他者との議論や対話を通して協働的に学ぶ力が必要です。

入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性・多様性・協働性		
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④	⑤	⑥	
入試区分、検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」（出願要件）		○	○				
			小論文（50点）			○				
			口頭試問	}（40点）		○	○	○	○	
			学修調書（学びの履歴と計画）			○	○	○	○	
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）	○		○	○	○	○	
	一般選抜	前期	共通テスト（500点）		○	○				
			教科・科目に係る個別テスト（国語）（200点）	○		○				
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）	○		○	○	○	○	
			高等学校入学以降の主体的な取り組み（10点）				○	○	○	
		後期	共通テスト（500点）		○	○				
			教科・科目に係る個別テスト（国語）（200点）	○		○				
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）	○		○	○	○	○	
			高等学校入学以降の主体的な取り組み（10点）				○	○	○	
	留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）		○	○					
		日本留学試験（日本語）（50点）	○							
		小論文（60点）			○					
		面接（40点）			○	○	○	○		

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・「国語」において読む、書く、聞く、話す能力を養い、自分の考えを的確に表現できる文章力やコミュニケーション力を身につけてください。
- ・古典の学習を充分に行い、古典に関する基本的な知識や教養を身につけてください。
- ・文学作品、新聞、言葉や文化について書かれた書物を読んで、思考を深めたり広げたりして、多様な価値観を尊重する態度を養ってください。
- ・周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等での外国語の学習にも意識的に取り組んでください。
- ・その他の教科・科目においても、広い知識を身につけようとする積極性と、常に問題意識を持ち、解決しようとする態度を養ってください。